

Aichi-Nagoya 2026

アクセシビリティ・ガイドライン（仮称） 骨子（案）

※下線部は、Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインと異なる項目

1 前文

- 1.1 Aichi-Nagoya 2026 アクセシビリティ・ガイドライン策定に際し
 - 1.1.1 ガイドライン策定の目的
- 1.2 ガイドラインの考え方
 - 1.2.1 ガイドラインの適用範囲
 - 1.2.2 ガイドラインを踏まえた整備
 - 1.2.3 基準設定の考え方
- 1.3 ガイドラインの背景にある3つの基本原則
- 1.4 アクセシブルでインクルーシブな環境から恩恵を受ける人
- 1.5 ガイドラインで使用する用語とその定義

2 技術仕様

2.1 アクセスと移動

- 2.1.1 通路と歩行空間
- 2.1.2 傾斜路
- 2.1.3 階段
- 2.1.4 路面、舗装、仕上げ
- 2.1.5 家具、カウンター、サービスエリア
- 2.1.6 入口と出口
- 2.1.7 ドアとドア周辺部
- 2.1.8 エレベーターとエスカレーター
- 2.1.9 非常時の対応策

2.2 アメニティ

- 2.2.1 概要
- 2.2.2 会場の座席
- 2.2.3 トイレ
- 2.2.4 シャワー、浴室、更衣室
- 2.2.5 カームダウン/クールダウンルーム
- 2.2.6 ベビーケアルーム

大阪・関西万博ユニバーサルデザイン
ガイドラインに記載あり

2.3 ホテル及びその他の宿泊施設

- 2.3.1 概要
- 2.3.2 アクセシブルルーム
- 2.3.3 車いす使用者に配慮した客室
- 2.3.4 宿泊施設内の他のサービスと設備

2.4 刊行物とコミュニケーション

- 2.4.1 概要
- 2.4.2 刊行物
- 2.4.3 ウェブサイト基準
- 2.4.4 公衆電話とインターネット環境
- 2.4.5 表示サイン
- 2.4.6 コミュニケーション支援と補聴援助機器

2.5 輸送手段

- 2.5.1 概要
- 2.5.2 道路輸送手段
- 2.5.3 鉄道輸送手段
- ~~2.5.4 航空輸送手段~~
- ~~2.5.5 海上輸送手段~~
- 2.5.4 公共交通施設に関するその他の要件

1.2.1 本大会での適用範囲内に、航空機・海上輸送の想定はないため削除

3 アクセシビリティトレーニング

3.1 概要

- 3.1.1 はじめに
- 3.1.2 トレーニングの目的

3.2 障害者等に対するエチケット／アウェアネストレーニング

- 3.2.1 説明
- 3.2.2 トレーニングの範囲
- 3.2.3 トレーニングの内容
- 3.2.4 トレーニングのテーマ
- 3.2.5 専門用語
- 3.2.6 トレーニングの実施方法

3.3 大会／任務別のアクセシビリティトレーニング

- 3.3.1 説明
- 3.3.2 トレーニングの内容
- 3.3.3 トレーニングプログラムの構成

3.4 会場固有のアクセシビリティトレーニング

- 3.4.1 説明
- 3.4.2 トレーニングの内容
- 3.4.3 トレーニングプログラムの構成